



守山市 発達支援センターだより

令和8年度 6月号

令和8年度6月1日発行

守山市発達支援センター（発達支援課）

守山市下之郷3丁目2番5号 すこやかセンター内

Tel : 077-582-1158 Fax : 077-581-1628



6月に入り、梅雨入りが気になる季節となりました。

じめじめしたお天気が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

雨が續くとちょっぴり憂鬱な気持ちにもなりますが、あじさいの花や雨上がりのキラキラした景色など、この時期ならではの楽しみも見つけていきたいですね。

さて、今回の発達支援センターだよりは、「研修会のご案内」と「心の居場所」に関する案内です。

発達支援センターで開催を予定している研修会や講座をいくつかご紹介します。ぜひ、ご活用ください。

特別支援教育研修会



目的：発達障害の特性理解と適切なかわり方について、具体的に学び、実際の指導に役立てます。

	日時	場所	テーマ
第1回	令和8年6月23日(火) 14:30~16:30	すこやかセンター 3階 講習室	ちょっと気になる子どもたちの理解と支援 ~読み書きの苦手な子どもたちを中心に~
第2回	令和8年10月29日(木) 15:20~16:50		(仮)読み書きに繋がる土台作り ~感覚統合の視点から~

※申込方法は、別途校園に案内します。

いまさら聞けない発達支援の基礎知識



目的：発達支援および福祉サービスに関する知識の普及を図ります。

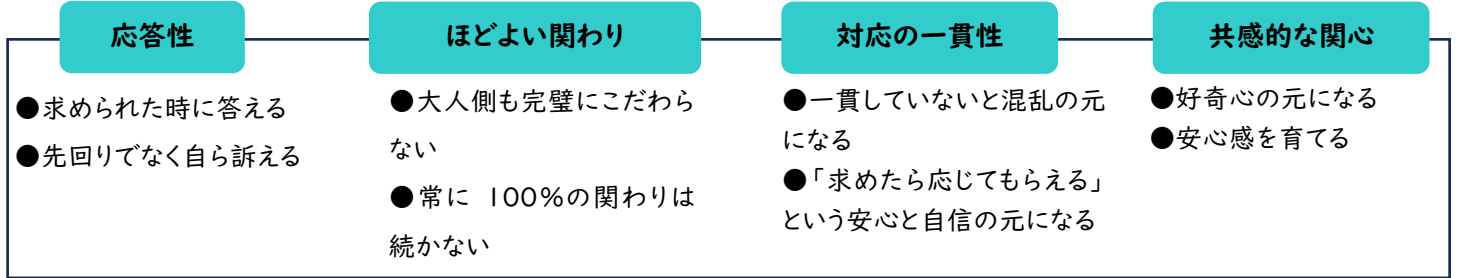
	日時	場所	テーマ
第1回	令和8年9月25日(金) 16:00~16:45	すこやかセンター 3階 講習室	発達検査について
第2回	令和8年10月28日(水) 16:00~16:45		療育手帳等
第3回	令和8年12月18日(金) 16:00~16:45		ケース検討会の持ち方

※申込方法は、別途校園に案内します。

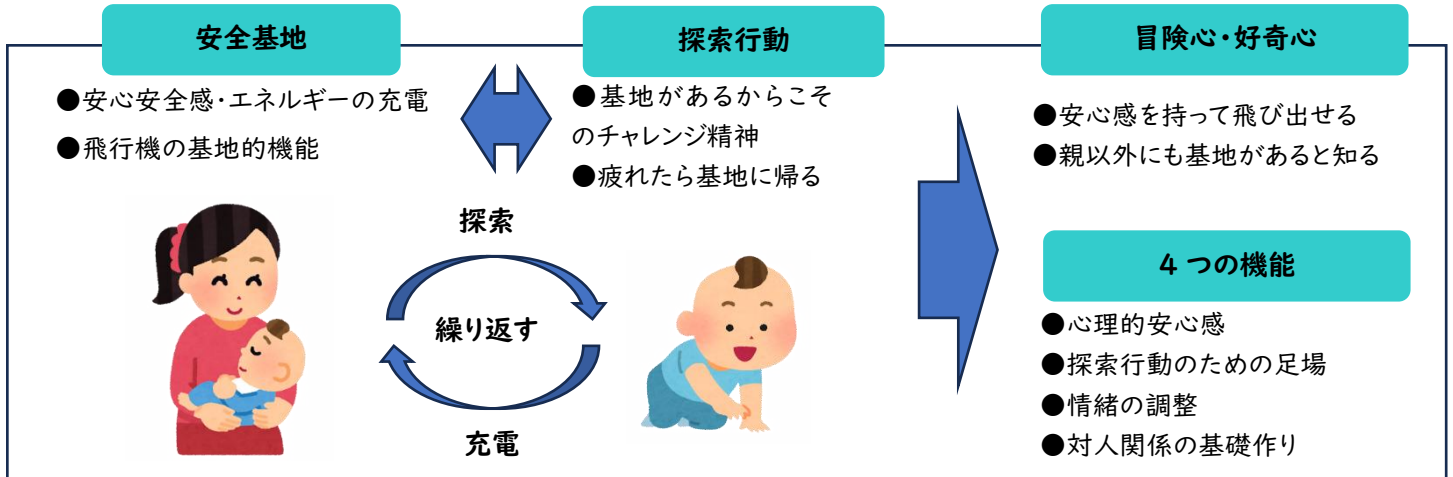
“心の居場所”はどこにある？

心の居場所と聴くと、愛着関係や、安心する場所といったものをイメージされることが多いかもしれません。こどもにとっては、それらが心の居場所やよりどころになっていると思います。また、大人にもそういった心の居場所は大切です。今回は、そういった心の居場所について、どのような要素があるとよいのか、そしてどのような機能があるのか見ていきたいと思います。

“一緒に居ると心が安らく”対象に求める要素(全てでなくてもどれか1つあるだけでも安心感を与えられます)。



このような愛着関係から得られる安心感を抱えて、さらに遠くへ、親から離れて自らチャレンジみようとする冒険心が育っていきます。このような安心感を与えてくれる存在を“安全基地”と呼びます。



逆に、そういった基地があることを認識できていない状態では、どこに向かえばいいのかわからないまま、同じところに帰ってくることはできず不安に陥ります。それは、帰るところも地図も案内役もなしに、言葉も文化も分からない未知の海外の国に飛び出していくような感覚に近いかもしれません。想像するだけでも、なかなか挑戦していくことも難しいように思います。

このように、安心・安全な基地や心の居場所は気持ちの安定のみならず、探索行動や他者との関わりを支える要素でもあります。また、“自分のために大人が関心を寄せて動いてくれている感覚”が、世界を広げることのできる自信(自己効力感)に繋がっていくのです。

心の居場所は大人も必要

心の居場所は、こどものみならず大人にとっても大切な安全基地です。居場所から得られる安心感は、日々を過ごすために必要な栄養とも言えます。なので、こどもの居場所を作ることに注力するあまり、大人が心の居場所を軽視してしまうことは、心の栄養補給としても良いこととは言えません。

安心できる人、グチを吐ける場所、ひと時でも不安を忘れられる体験、推し…、どんなものでも構いません。

大人自身も、「自分が落ち着ける場所(時間)はどこか」「だれに頼ると安心できるか」といった心の居場所を意識してみてください。

参考文献:「愛着障害の克服」(2016). 岡田尊司.